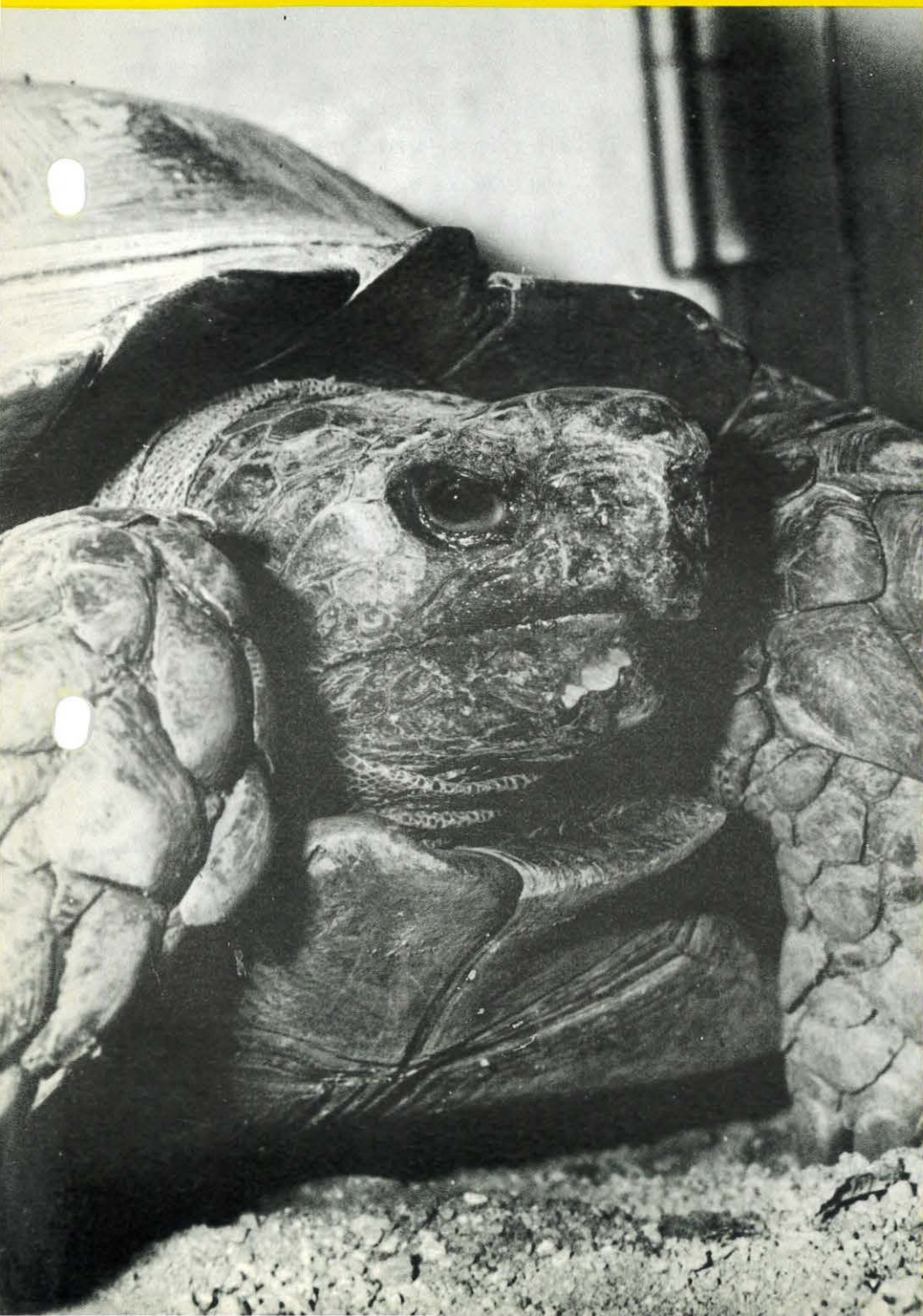


なきごえ



1980

6

大阪市
天王寺動物園協会

動物と私

動物園今昔

中川道朗



昨年6月。34年間動物と共に明け暮れた動物園生活に別れを告げて、アッという間に早や1年。慌しかった毎日の生活から解放され、今は静かに第二の人生を送っています。

私が動物園に奉職したのは、終戦直後の昭和20年12月。

ボロをまとった浮浪者が町に溢れ、空き腹をかかえた人々は、食物を求めてヤミ市をさまよひ、焼跡の廃きよの中で、半地下濠のトタン屋根の住居から、何を炊くのか、貧しい夕飯の煙が細く棚引いた様子が、今日でもありありと喉に浮かんできます。

そんな惨めな時代でした。

動物園も例外ではありません。軍の命令で処分された猛獣たちの住み家には、主によって、牛やブタが占領していました。

園内には、まだ多数の焼夷弾が突き刺さったまま、そして空地という空地は全て耕やされ、イモ畑、麦畑に化していました。

そんな中で、私たちは毎日、復興作業に汗を流したものです。

通勤途上ですら、見捨てられた餓死者を見るのも

なきごえ6月号もくじ

動物と私	2
.....	3
動物園グラフ・動物園日記	4・5
野生チンパンジーの食生活(上)	6・7
病子ゴリラの示した擬人的行動(下)	8・9
第6回サマースクール開講のお知らせ	10
動物園ニュース	11

不思議ではない時代でしたから、動物たちのエサ集めには、ほんとうに苦労しました。中央市場で乏しい野菜クズを拾い集めたり、今では見向きもしないアンモニア臭の強い魚をまるでガキのように食べたベリカンたち……。

今の若い人たちには、想像を絶する時代だったのです。

経済成長に伴って、夢のような豊かな時代がやってきました。自然保護思想の普及に伴って生き物への歓心も昔と比べて格段に向上しつつあります。又、都会から自然が失われた結果、人々の自然回帰の心が増大しています。

このようなとき、今、動物園はその存在価値さえ問われようとしています。

そのためにも、単なる見世物から脱却して原点の「智識の園」としての役割を認識し、自然保護への科学的協力こそ、残された人たちの努めではないでしょうか。

そして又、市民のための真の「オアシス」として、豊かな緑、美しい花、健康な動物たち、これらがより一層強く求められることでしょう。

「愛と美の世界」これこそ、動物園に与えられた課題だと云えます。

自然保護を原点にした「アニマルバンク」目指して、進まれんことを切に祈っています。

(大阪市公園局嘱託)

(前天王寺動物園長)

表紙の写真説明

“ムツアシガメ”

東南アジアに分布するこのカメは甲長が50cmにもなります。後足と尾の間にある突起が5本目と6本目の足のように見える為、この名があります。

(撮影：長瀬 健二郎)



“タンチョウ、5年連続繁殖成功”

5月26日、28日とタンチョウが1羽ずつふ化しました。これで5年連続の繁殖に成功したわけで、計9羽のヒナが誕生しています。(ふ化日数：共に33日)

(撮影：樽本 勲)

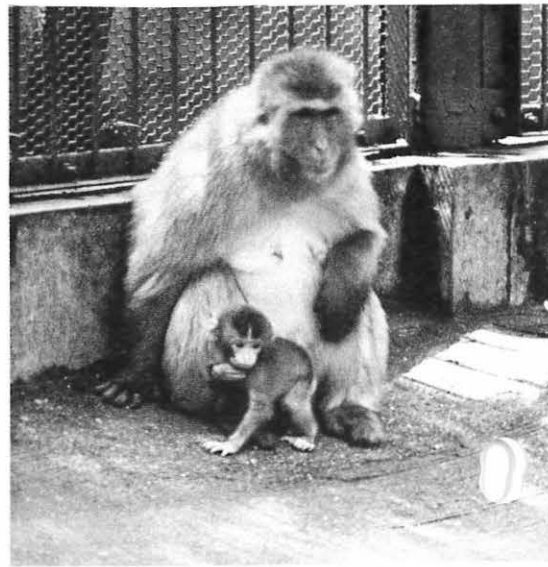
動物園グラフ

今年もまた赤ちゃん誕生のシーズンがやってきました。今回はこのベビーラッシュの一部を写真で御紹介しましょう。

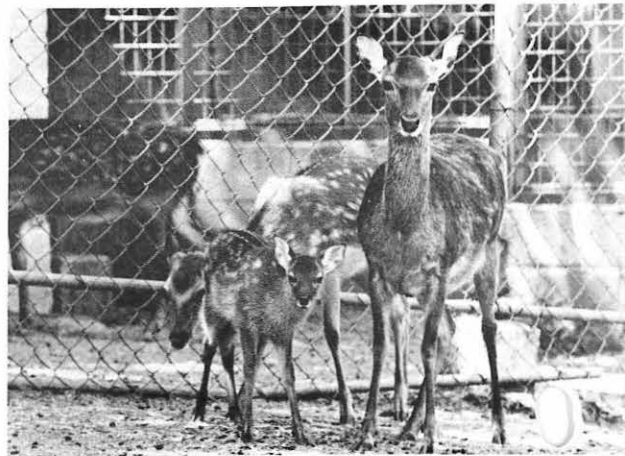


〈バーバリーシープ〉

3月10日に生まれたのを初めとして4月1日までに合計4頭誕生しています。



〈ニホンザル〉 5月14日生まれ
かわいらしい仕草が入園者の人気を集めています。



〈ニホンシカ〉 5月27日生まれ

母ジカの世話ですくすくと育っています。ひき続いて数頭の誕生が見込まれています。

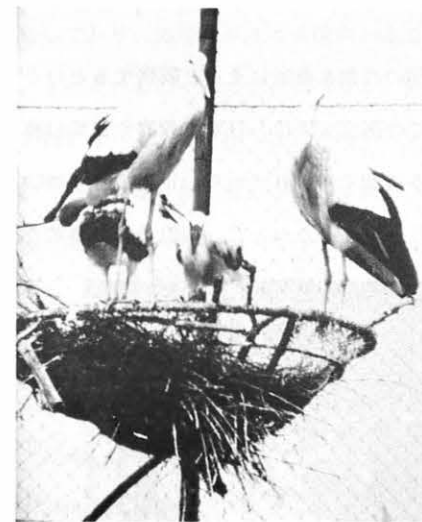


〈ピューマ〉 5月24日生まれ：1頭
毎年順調に繁殖しており、母親も育児に手慣れたものでうまく育てています。



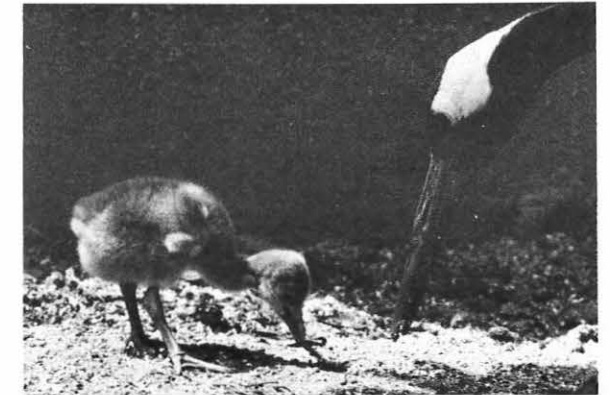
〈アビシリアライオン〉
5月18日生まれ：オス1頭

いつも双仔を産むのですが、今回は珍しく、1頭だけでした。



〈シュバコウ〉

3つの巣で産卵、抱卵していますが、5月初めに3羽のヒナが確認されています。



〈タンチョウ〉

5月25日、28日に1羽ずつふ化しました。これで5年連続の繁殖成功です。

4・5月の動物園日記

- 4 / 22. タンチョウが産卵しました。
- 23. 先日入園したキリンの検便したところ寄生虫がいることが解ったので駆虫することにしました。
- 24. 入院中のマレージャコウネコが退院しました。
- 25. 新着のキリンを初めて運動場へ出しました。1月に入園したアカオザル4頭を展示公開しました。カラヤマドリが頭部に負傷したので治療し

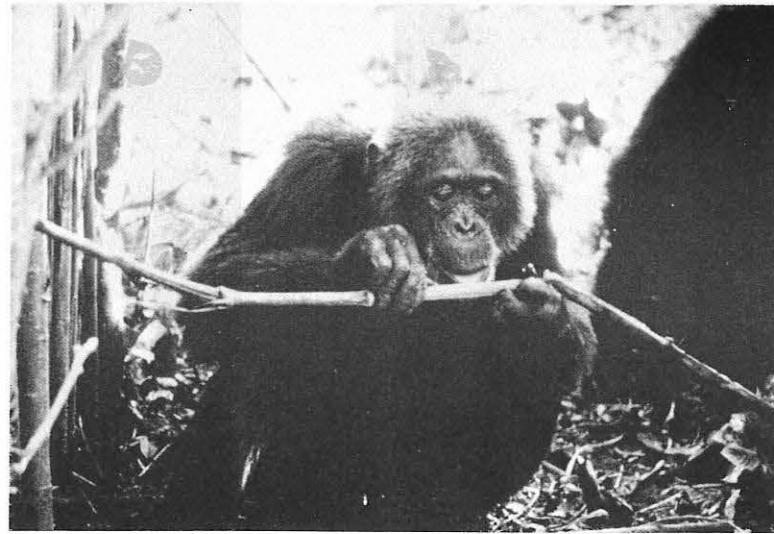
- ました。
- 27. 春の動物園祭が始まりました。あいにく雨天のため入園者はあまり多くありませんでした。
- 29. コブハクチョウが老衰のため死亡しました。コヨーテの仔6頭にワクチン接種しました。
- 30. 骨折のため足を切断したシュバシコウに義足を装着しました。タンチョウに義嘴を取り付けるため義嘴の整形と型取りをしました。
- 5 / 3. 西安動物園から4名の方々が来園されました。

- 5. 「ゾウのハル子・ユリ子来園30年記念感謝のつどい」が行なわれました。同時に行われたゾウの体重測定の結果は、ハル子 4,250kg、ヒロ子 2,250kgでした。「春の動物園祭」が終了しました。
- 6. シュバシコウの義足の手直しをしました。
- 10. 愛鳥週間にちなむ「鳥の世界展」が開催されました。
- 11. カラヤマドリが頭部の啄傷のため死亡しました。昨年生まれのグマシカの雄を以前からいる雄と同居させました。

- 14. 今年初めてニホンザルの雄の子供が生まれました。アカカンガルーの雄が左の顎を腫らしているため治療を始めました。ベンガルヤマネコが鼻汁を出しているため治療を始めました。
- 18. アビシリアライオンが出産しました。
- 19. コヨーテ6頭、ヤギ5頭、トラの仔2頭が出園しました。ニホンジカが雌の子供を出産しました。
- 20. シロテテナガザルが結膜炎になったので隔離治療を始めました。

野生チンパンジーの食生活(上)

乗越 皓司



竹の中に巣を作っている小さなシリアゲアリを食べているチンパンジー。私の調べた集団は、このアリを最もよく食べていた。

§ はじめに

アフリカには数多くの国立公園があって、いろいろな野生動物をみることができるが、チンパンジーを直接観察できる所はめずらしい。そのめずらしい国立公園が最近、新しく開園しようとしている。東アフリカにあるタンザニアのマハレ国立公園である。アフリカ大陸のほぼ中央部に、瀬戸内海ほどの広さのタンガニカ湖があるが、そのほとりにそびえるマハレ山脈を中心とした地域にできる。そこには、大阪府ほどの広さに、約1,000頭のチンパンジーが生息している。

アフリカの国立公園といえば、例えばテレビで見られるように、広大なサバンナをゆく車の中からライオンやキリン、シマウマなどの草原の動物を見erというイメージがあるだろう。ところがマハレにはゾウやライオンなどの危険な猛獣がいないので、車を使わず歩いて野生動物をみるのが特徴となる。森林の中に続く小さな遊歩道から、チンパンジーやサル

仲間の行動を身近にそっと観察するというぐあいに。

この国立公園は、日本の政府や民間の募金などによる援助で作られている。世界の野生動物を保護しなければならないという国際協力の事業なのである。



チンパンジーの調査には、森林の中を縦横に切り開いた観察路を利用している。しかし、すぐツタなどに道をふさがれるので、パンガ(ナタ)でかり広げながら進まなければならない。生活について述べる。

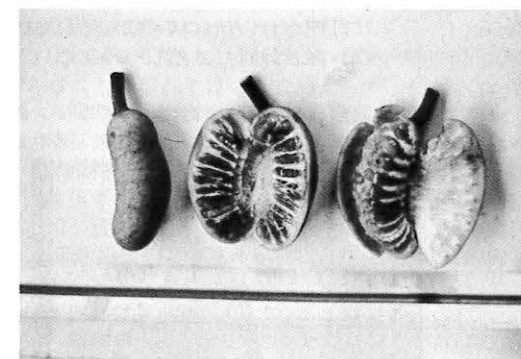
筆者は、この事業を進めるために、2年間あまり現地でチンパンジーの調査を行ってきた。今回は、その調査の中からチンパンジーの食生活について述べる。

§ チンパンジーの日常生活



この黒いチンパンジーの糞には、2ミリほどの小さい実が多数入っており、数えるのが大変だ。焼畑をした後に生える低かん木で、甘くておいしい実だ。

まず最初にチンパンジーの日常生活にふれておこう。チンパンジーは、アフリカの熱帯森林とその周辺部に生息しており、体の大きさは人間のおとなほどである。主にくだものや木の葉を食べるが、昆虫や小さな動物も食べる。夜は樹上に木の枝でベッドを作って眠り、次の朝食物を求めながら移動し、また夜には別の所にベッドを作る。1つの集団は小さいもので30頭、大きいものは80頭くらいで、毎年きまった場所を動きまわっている。ゆたかな森林の食物が多くある所ではせまい地域(10km²ほど)で生活できるが、乾燥したあまり木のない所にいる集団はその20倍も30倍も広い所が必要となる。集団の移動



このアケビのようなものは、とてもおいしく、我々もチンパンジーと一緒によく食べた。

の仕方でもニホンザルのように全員が一緒に動くのではなく、各個体が自由に集まったり、またわかれたりする。この様な個体の高い独立性は、チンパンジーが森林の中で他の動物から襲われることなく、一頭だけでも十分生きてゆけることと関連している。

§ 食物について

チンパンジーの食物は主にくだものや木の葉であるが、いつも同じものばかり食べているのではない。各季節毎に次々と別の木の果実を利用している。熱帯の季節は雨期と乾期の二つだけだが、それでもそ



雨期の始めには、白アリが羽化して飛び立つ。チンパンジーは、小さい働きアリなど見むきもしないで、羽のある大きなメスやオスを手でつかんで食べる。この時には、めんどうな道具を使うことはない。

れぞれの時期に次々と別の木の実が実っているのだ。

チンパンジーの果実の食べ方は面白い。果実をよくかまないで種をまるごとのみ込んで食べてしまう。そうすると糞の中に食べた果実の種がそのまま出てくる。このことは、彼らが何をどれだけ食べたかを調査しようとする我々にとって、非常に都合なことである。糞を集めてその中に含まれている種子を調べればいいのだから。(つづく)

(上智大学生命科学研究所 自然人類学教室助手)

病子ゴリラの示した擬人的行動(下)

—— ゴリラについての復習と一原虫の観察をした思い出の中から ——

一色 於菟四郎

7. 日本に初めて輸入されたゴリラ

筆者は、以上、ゴリラの話しを簡単に片付けるつもりであったが、思わず長話しをしてしまった。これからいよいよお話し

の核心にはいろう。わが国にゴリラが入ってきた歴史は、割合に新しく、昭和29年(1954)、すなわち今から約四分の一世紀前のことであった。

第二次大戦後、東京・大阪を始めとし、諸都市の動物園の復興が、まだ不十分であった頃、樽谷鹿太郎氏主宰の“日本動物園”という大規模な“巡回動物園”が結成された。本園の大阪における二度目の催しのとき、2歳の子ゴリラが、同園の目玉動物となった。それは、あたかも今日における上野動物園の“パンダ”のように人気を呼んだ。

動物は、神戸の極東貿易株式会社の手でアメリカを経由して、空路で、12月23日羽田空港に到着した。その産地はコンゴとのことであった。彼らは途中アメリカに2週間滞在したという。側聞したところによれば、彼らが日本に輸入されるについてはフランス政府の好意があった由である。ゆえに、その産地は、もう少し具体的にいうと、コンゴ川流域のカビンダ付近あるいはブラザビルに近いジャングルと推定される。種類はローランドゴリラであり、本種はほかにカメルーン・東南ナイゼリア・ガボン・赤道ギニア、さらに遠くはコンゴ盆地とウガンダとの境、カヨンザの森にも生息するといわれる。

なにしろ輸入ゴリラは、日本における初めての飼養であったから、同園の飼育主任、上田誠太郎氏

の心くばりには、なみなみなならぬものがあった。ゴリラは同30年(1955)の元日、福岡市東公園で、入園者たちにおめみえし、しばらく同市に滞在、その後大阪市東公園の開催場に入った。

8. 病子ゴリラの観察

同年4月24日頃、上田氏からゴリラの下痢がなかなか回復しないから調べて欲しいと、大阪府立大獣医学科にご依頼があった。25日から、われわれは糞便検査とできる限りの臨床的観察を開始した。

飼育用のオリ(檻)は前方が鉄格子とガラス戸張り、両側と天井は板張り、後方は出入口のある鉄格子囲いとして、それが通路に接し、全体として、類人猿の大きなオリを形成していた。オリの床は板張り、床下にスチームのパイプを通し、室温は27~30℃に保ってあった。室の換気にも注意がはられ、一般にオリの管理は遺漏のないように行われていた。

飼糧としては、オートミル・パン・かたくり・カ

ルケット・脱脂粉乳・リンゴ・蜂蜜入り紅茶などが給与されて、これにパンピタンが添加されていた。なかなかシャレたメニューである。

メスは2歳(写真に向って左)、本動物は入園当時から元気がなく、運動が不活発で、体格が小さく、栄養も不良であった。しかし、当時には食欲が普通、糞便は軟らかであった。

彼女は1955年4月上旬の候、数日間下痢を続けた。4月12日オーレオマイシンが投与された。その後1週間は軟便であった。やせて、毛づやが悪く、毛がまばらで、下肢に不規則な脱毛区域があり、皮膚は乾燥し、ゆるんで、腹部は退縮していた。

性質は沈うつで、運動は不活発、背部を室壁にもたせかけて、じっとしている時が多く、手を時おり頭部にあてて、いかにも頭痛がするというような様子を示した。また、からだがいかにもだるそうに見え、床にゴロリと横に寝る姿勢をとり、下腹部を抱くようにして、いかにもお腹が痛いという様子を示した。眼に力がなく、眼瞼粘膜や口粘膜は色が淡く、貧血状態を示していた。採血して血球計算を試みたかったが、まだ野性のままであるので、刺激してはということで、視検だけに止めた。

4月27日ひどい腹鳴りが聴きとれ、口がかわくらしく床に出した自分の尿をなめていた。

3週間の観察期間中体温に上がり下がりがあり、高いときは38℃を示し、最低が36℃ぐらい、体温が比較的高いときには、検便をすると特徴的な回転運動をする、卵形~楕円形を示し、体表にべん毛を具えた大腸バランチジウムが視野を横ぎるのが鏡下に所見された。一方体温が37℃前後のときには、おおむね虫の姿が見られなかった。

糞便は下痢便、軟便ともに人間のバランチジウム症について記載されたところとその諸性質がよく一致し、ほかの動物における同症とも一致していた。潜血反応は軽く陽性を示したが、目立つような血便を出すほどではなかった。

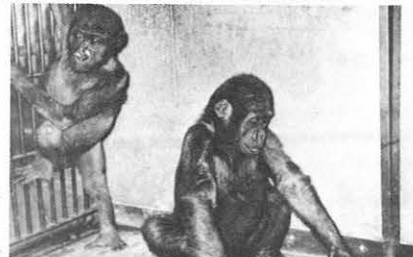
ねむりが不十分で、時おり不眠状態であったという。糞便の特異的な性質の詳細を省略したが、大腸バランチジウムは証明され、諸症状も揃っているもので、バランチジウム症と診断して差しつかえないと思った。

虫体の形態的観察、豚系種との比較、ネルソンの培地への培養試験、他の培地との比較試験、ダイコクネズミ

への接種試験なども実施したが、それらの試験成績も、ここでは省略する。

2才の

病気の子ゴリラ



オス(写真の向って右)は、入園後の発育が順調、メスにくらべると、体格が大きく、栄養も良く、一見丈夫そうであるが、その腹部は写真のほとんど同年齢のものに比較し、また同居のメスにくらべて突出しているものの、被毛は粗であり、毛づやも悪い。しかし、元気は良く、動作は活発で、眼力もあり、口腔粘膜はピンク色を示し、善食し、よく眠り、糞便は、おおむね有形便、回数も普通であり、本症特有の症状を示さないが、時おり球形の糞子を排泄し、不顕性型の感染状態であった。これにくらべると、いろいろな症状のそろったメスは明らかに顕性型といえることができる。

さて、私どもは、子ゴリラの生態についての知識が不十分であったし、看病や治療に力を尽し得ず、専ら寄生虫の検索に力をそそいで、それに追われて、病子ゴリラには申し訳けないことをしたと反省している。

私たちは、これらの動物に接している間に、もし人間の赤ちゃん、幼児であつたら泣いて苦痛を訴えるであろうのに、彼らは、沈黙して苦痛を耐えしのんでいる様子で、また、うつろな顔をしているときには、故郷や親ゴリラを思い出しているのではないかと想われた。

前記したように2歳といえ、故郷では母親の胸、愛の手に抱かれあるいは、背に乗って、可愛い盛りであるはずであろう。

9. 病子ゴリラの示した擬人的行動

前記したように病子ゴリラは、頭痛の様子あるいは腹痛の様子を示したが、人間のバランチジウム症の患者について、その症状が記載されたものを通覧したところ、両症状共に、記録されているところであり、その示した行動から案じて、それらの症状は共に、病子ゴリラにあった可能性が大きい。

動物園で類人猿にも接しておられる宮下氏は、オランウータンやチンパンジーでもかかる様子を示すことがあり、ニホンザルそのほかの霊長類では見られないと教えられた。

ゴリラには言葉がないばかりか、苦痛を泣いて示すことがなく、獣医家は医家よりも、診察行為において、困難な点が多い。ことに病獣は苦しみが畜主に理解して貰えないために、たとえ日頃馴れられている動物でも、不意に攻撃的行動に出ることがあり、まだ野生状態のぬききれないものとともに、注意しなければならない。ゴリラは、鋭い犬歯の保有者であることを忘れてはいけない。

人間では狂水病の患者似外には、他人を咬むことは稀有であろう。

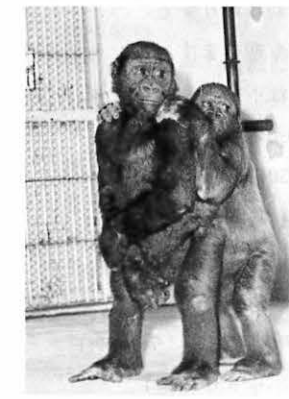
獣医科は医家の小児科に近いと言われるが、確かに共通点がある。しかし、またちがった面もある。

10. 病子ゴリラを東北地方に追っていった思い出
1955年の4月末、日本動物園は、東北地方へ移動することとなった。1夜のうちに、移動準備を完了しなければならないのであるから、多端きわまりなく、職員の方々のご苦勞は大変なものであろうと同情を禁じ得なかった。

私たちは、病子ゴリラと3週間で別れなければならなかった。飼育者への感染の防禦としてのオリの

消毒、衣類や履き物の消毒、糞の処理など、飼育係りの方々の作業は並大抵ではなかった。

私は、不注意から虫のスタム保存のダイコクネズミの継代に失敗し、1955年8月(この年は猛暑が続き、東京でも日中室温が37℃代に上昇した)、日本動物園が仙台において開園中と聞き、ネルソンの培地を持参して、同地に急行した。しかし、その時同園



健康な子ゴリラ

は山形市に移っていた。そこで、仙山線に乗り換えて、山形へ急行した。ここで、お世話になった上田氏と再会し、また病子ゴリラたちとも再会できて、まことになつかしかった。しかし、子ゴリラたちは元気がなくて寂しさを感じた。

早速、検便したところ、虫は少ないながら証明された。それをネルソンの培地に培養し、

私は、すぐに大阪へと引き返した。幸いバランチジウムは培養地内で沢山に増殖していた。そこで早速ダイコクネズミに経肛感染させて、スタムとして保存することができた。

11. 子ゴリラその後の消息

その後、ゴリラたちは、年の暮あたりになつたということに耳にした。

最近、ゴリラたちの診療にあたられた、同園専属の獣医さんであられた坂内定介氏と連絡がついて、ゴリラたちは、下痢が続き、バランチジウムを排泄し続け、治療の甲斐もなく、悪液質におちいって死亡したとのことである。同氏は、「虫が必ず大腸粘膜に寄生していたと思う」と教示された。詳細については、追ってご連絡頂けることになっている。

おわりに

本論の中に、上記のゴリラには、5種の線虫卵を証明したこと、それらの駆虫は、差し控えたことを記載しなかった。

なお、細菌学的ならびにウィールス学的な検査が、併せて行われなかったことを反省している。

しかし、一般的な症状は、大腸バランチジウム症を主としていた証拠が多い。

子ゴリラを飼育するときには、彼らの故郷における生活を考慮して、自然界における巣に類似したベッドを作ってやっては如何かと思う。しかし、そのベッドの清掃法や消毒法について、綿密な考慮と工夫が必要である。

病子ゴリラが、頭痛と腹痛を表現するような、しぐさを示したのが、深い印象として残っている。

日本の動物園において、将来、子ゴリラを入手することが困難となるであろうが、獣医学徒の探險的教養と、感染症の知識とを深めあるいは高めることに努力する必要を痛感する。

(おわり)
大阪府立大学名誉教授

第6回サマースクール開講のお知らせ

大阪市天王寺動物園と大阪市立自然史博物館との共催で、夏休み中の子供たちのために、7月22日からサマースクールを開きます。

動物園で動物の観察や飼育の勉強をしたり、博物館で動物の体のしくみを調べたりするこのサマースクールは、今年で6回目を迎えます。サマースクールの実施内容と募集要領は下記のとおりです。

- 日時 7月22日(火)～7月31日(休)
午前9時30分～午後3時
(第3日目のみ12時まで)
3組に分けて受講
第1組(小学4年生組)
7月22日～7月24日
第2組(小学5年生組)
7月25日～7月27日
第3組(小学6年生組)
7月29日～7月31日
- 会場 第1・2日目 大阪市天王寺動物園
第3日目 大阪市立自然史博物館
- 参加資格 小学校4・5・6年生
ただし保護者の同意があって居住地から会場まで3日間通えるもの。
- 参加経費 1人500円(資料、記念写真代)
- 持参品 弁当と水筒(第1・2日目のみ)
筆記用具
絵具、筆、水入れ(第2日目のみ)
- 定員 各組90名、計270名
応募者多数の場合は抽選します。
- 申し込み方法
6月30日までに必着するよう往復ハガキで動物園まで申しこんでください。なお往復ハガキに
(1)サマースクール第○組に参加希望
(2)住所(電話番号)
(3)氏名、学校名、学年
(4)保護者氏名

を記入し、返信用ハガキにも住所、氏名を必ず記入してください。
(注)今回から学年ごとに組分けしましたので小学4年生は第1組、5年生は第2組、6年生は第3組だけしか応募できません。

- 参加者の決定
7月1日に抽選の上、返信用ハガキで通知します。
- 内容 動物園：動物の観察や飼育係の仕事を見学し、動物に関する話を聞く。
自然史博物館：動物の頭や体のしくみを調べたりスケッチする。
- その他 (1)実習当日の詳細については参加決定者に連絡します。
(2)保護者の参加は認めません。送迎のみにしてください。
- 申し込み連絡先
〒543 大阪市天王寺区玉水町2
大阪市天王寺動物園
TEL. 771-8401

ボランティア募集中!

毎年夏休みに、小学生高学年を対象としたサマースクールを開催していますが、今年も上記の通り開催を計画しています。そこでこのサマースクールをお手伝いしていただけるボランティアを募集し、少しでも多くの子供たちに動物とのふれあいを通じて情操教育の機会を与えてあげたいと考えています。

ボランティアとしての資格は特に必要なく、動物や自然を愛する気持の強い大学生又は短大生、及び一般の方で、サマースクール期間中、奉仕していただける方の応募をお待ちしております。

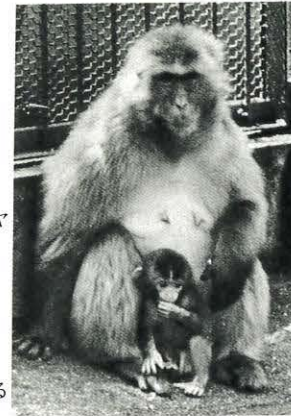
応募の受付は天王寺動物園(TEL 771-8401)で行っております。ボランティアの研修日程の都合上、6月30日で締切らせていただきます。

動物園ニュース

§ ニホンザル出産

5月14日、今年の猿類出産のトップを切ってニホンザルに赤ん坊が産まれました。赤ん坊はオスで、男の子らしく生後4日目には早くもお母さんの背中や頭に登り、お母さんを困らせる程のヤンチャぶりです。

あと数頭、妊娠中のメスザルがいますので、ここ1ヶ月位の間に続いて生まれることと思います。



§ 「鳥の世界」展開催



5月10日から始まった愛鳥週間にちなんで、北園の展

行ないました。昨年同様ハル子とヒロ子の体重を計ったのですが、ハル子は昨年4080kgだったのが4310kg、ヒロ子は2240kgが2290kgとそれぞれ増えていました。尚、同時に行われたヒロ子の体重をあてるクイズで一等になったのは奈良県に住む大門ひろ子ちゃんでした。

§ 保護動物

野外の鳥達も春の訪れにともない、繁殖シーズンが始まりました。が、親に見放されたり、あるいは自分で巣を飛び出してしまったヒナ鳥もいて、こんなヒナ鳥が続々保護されて、動物園に届けられています。また渡りのシーズンも同時に始まり、この際傷ついた鳥も届けられています。

5月16日には旭区からキジバトのヒナが届けられました。人家近くで生れたヒナが巣立ちしそこねたようです。届いた時はかなり衰弱していたのですが、強制給餌するうち元気を回復し、今では自分で餌を食べるまでになりました。

18日にはムクドリ(カラス)のヒナ6羽が届けられました。これは心ない人が巣ごとヒナを取ったものかどうかわからず派手に



くらしを彩るショッピング



近鉄百貨店

アベノ店(06)624-1111・上本町店(06)779-1231
東京近鉄(0422)21-3331

・近鉄百貨店グループ

大阪(アベノ・上本町)・東大阪・奈良・京都・岐阜
枚方・四日市・和歌山・徳山・別府・東京(吉祥寺)

第6回サマースクール開講のお知らせ

大阪市天王寺動物園と大阪市立自然史博物館との共催で、夏休み中の子供たちのために、7月22日からサマースクールを開きます。

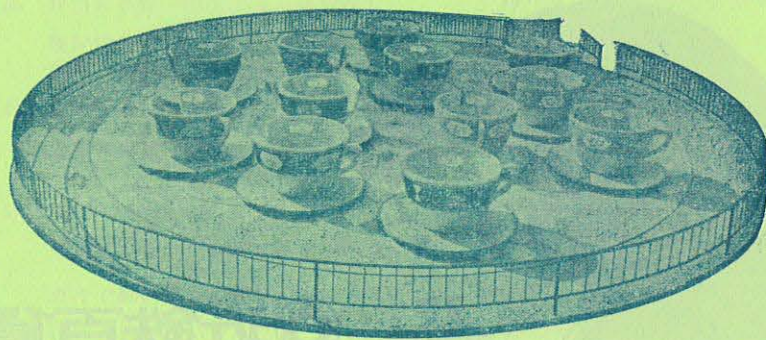
動物園で動物の観察や飼育の勉強をしたり、博物館で動物の体のしくみを調べたりするこのサマースクールは、今年で6回目を迎えます。サマースクールの実施内容と募集要領は下記のとおりです。

1. 日 時 7月22日(火)～7月31日(木)
午前9時30分～午後3時
(第3日目のみ12時まで)
3組に分けて受講
第1組(小学4年生組)
7月22日～7月24日
第2組(小学5年生組)
7月25日～7月27日
第3組(小学6年生組)
7月29日～7月31日

を記入し、返信用ハガキにも住所、氏名を必ず記入してください。
(注)今回から学年ごとに組分けしましたので小学4年生は第1組、5年生は第2組、6年生は第3組だけしか応募できません。

8. 参加者の決定
7月1日に抽選の上、返信用ハガキで通知します。
9. 内 容 動物園：動物の観察や飼育係の仕事を
見学し、動物に関する話を聞く。
自然史博物館：動物の頭や体のしくみを調べたりスケッチする。
10. そ の 他 (1)実習当日の詳細については参加決定者に連絡します。
(2)保護者の参加は認めません。送迎

遊園施設委託経営・製作・販売



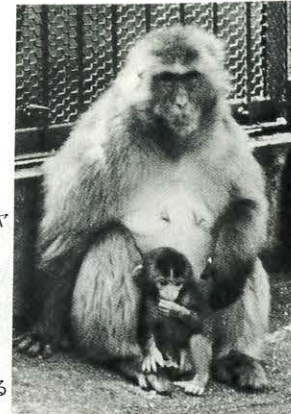
久竹 娯楽株式会社

本社工場 大阪市西区北堀江1丁目23番21号
電話 大阪(06)541-3112・3938 番

動物園ニュース

§ ニホンザル出産

5月14日、今年の猿類出産のトップを切ってニホンザルに赤ん坊が産まれました。赤ん坊はオスで、男の子らしく生後4日目には早くもお母さんの背中や頭に登り、お母さんを困らせる程のヤンチャぶりです。



あと数頭、妊娠中のメスザルがいますので、ここ1ヶ月位の間に続いて生まれることと思います。

§ 「鳥の世界」展開催



5月10日から始まった愛鳥週間にちなんで、北園の展示館で、「鳥の世界」展を

5月31日まで開きました。

6つのコーナーに別けて「愛鳥週間とは」、「愛鳥度テスト」、「鳥の生態説明」などの展示を行ったのですが、大変好評でした。

§ 西安動物園一行来園

5月3日、西安動物園の方々が来園しました。西安市は京都市と姉妹都市なのですが、この程親善動物交換が行われ、この為来日された園林局長以下4名の方々が情報交換の為来園された訳です。一行は約2時間かけて園内を見学されたあと、情報交換会に臨まれ、色々とお話をして下さいました。

§ ゾウの体重測定

5月5日、「ゾウのハル子さん、ユリ子さん入園30周年感謝のつどい」が開かれ、その際、例年恒例の「ゾウの目方を計る会」も



行ないました。昨年同様ハル子とヒロ子の体重を計ったのですが、ハル子は昨年4080kgだったのが4310kg、ヒロ子は2240kgが2290kgとそれぞれ増えていました。尚、同時に行われたヒロ子の体重をあてるクイズで一等になったのは奈良県に住む大門ひろ子ちゃんでした。

§ 保護動物

野外の鳥達も春の訪れにともない、繁殖シーズンが始まりました。が、親に見放されたり、あるいは自分で巣を飛び出してしまったヒナ鳥もいて、こんなヒナ鳥が続々保護されて、動物園に届けられています。また渡りのシーズンも同時に始まり、この際傷ついた鳥も届けられています。

5月16日には旭区からキジバトのヒナが届けられました。人家近くで生れたヒナが巣立ちしそこねたようです。届いた時はかなり衰弱していたのですが、強制給餌するうち元気を回復し、今では自分で餌を食べるまでになりました。

18日にはムクドリヒナ6羽が届きました。これは心ない人が巣ごとヒナを取ったものかどうしていかかわ



かわからず派出所の前に捨てたものようです。うち2羽は衰弱が激しくすぐ

死にましたが、残り4羽は元気を回復しました。

また、21日には衰弱したオシドリとキジバトの親、22日は、翼を折ったツバメ、24日は衰弱したアオバズクが届き、研究室は大変な忙しさです。

休園日のお知らせ

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。9月までの休園日は下記の通りです。

6月16日(月)、7月21日(月)、8月18日(月)。

開園時間は9時半～5時で、4時に切符売止めになります。

先月4月号の文中に誤りがありました。おわびとともに訂正いたします。

P	行	正	誤
7	上より6	ライエノ	ライビレ
7	ク 21	エソファゴ	エシファゴ

なきごえ 昭和55年6月15日発行(毎月1回15日発行)

編集/大阪市天王寺動物園

発行人/大阪市天王寺動物園協会 和田辰巳

印刷所/株式会社 松村善進堂 定価100円(送料共)

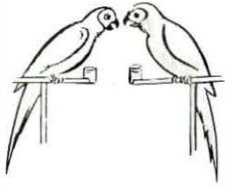
第16巻第6号(通巻178号)

〒543 大阪市天王寺区玉水町2

電話 大阪 (06)771-0201

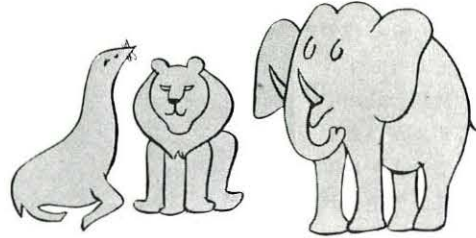
振替口座 大阪 37823

1年継続(12部)1,100円(送料共)



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達



- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地

電話(078)221-8195・221-1517

電話(078)241-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

各130cc.=90円

パイナップル・オレンジ・ストロベリー・フルーツカクテル

編集委員

板野 健一・中川 哲男・大野 尊信・榊原 安昭・樽本 勲・中川 道朗・高橋 真三・農本 武志
石島 宏胤・野口 秀高・宮下 実・橋本 一郎・長瀬健二郎・三浦 正明・葭谷 文彦・仲谷 登